



つるだ

さつま町立鶴田小学校
学校便り 第2号
R7.5.22発行

プログラミングとは？

校長 田畑悦郎

令和2年度から、小学校において『プログラミング教育』が導入されています。保護者や地域の皆様も、この言葉を目にされたり耳にされ



たりしたことがあると思います。そこで、この『プログラミング教育』とは、どのような取り組みをするのか、少しご紹介したいと思います。

まず、時間割に『プログラミング』という教科が新設されたわけではありません。プログラミングという教科書もありませんし、通知表の評価項目でもありません。

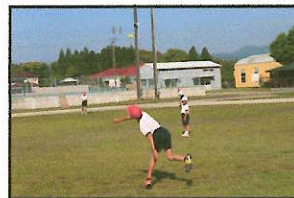
では、どのような形で実施されるのかといいますと、「この学年の、この教科の、この単元なら、プログラミングの考え方を活用することで教科の目標がより達成しやすくなるとともに、児童がより意欲的に取り組むことができる。」という領域で実施されます。文部科学省では、小学5年生の算数単元『正多角形』と、6年生の理科単元『電気の性質』で取り組むことを、学習指導要領で明確に打ち出しています。また、高学年の総合的な学習の時間においても、探究的な活動を行う際にプログラミングも組み込むことで、情報活用能力を育むようになっています。本校でも、まずは、これら学習指導要領に示されている単元や内容から導入し、実践しているところです。

小学校プログラミング教育は、難解なテキスト言語を入力しパソコン上のプログラムを構築していくのではありません。自分が意図した一連の活動を実現させるために、取り組みを分解したり修正したり、繰り返したりして実現させることで、物事を論理的に考えていく力を伸ばすことを目的としています。これらの能力は、将来どのような職業に就いたとしても普遍的に求められる力です。

プログラミング教育は導入されて6年目ではあります。しかし、本校の教師はもちろん、世の教師にとっては、「教わったことがない、それまでは教えたことがなかった、しかし取り組むべき領域」でありますので、先進校の実践例等も参考にしつつ、「子どもたちと一緒に学ぶ」姿勢を持ちながら、各学年の発達の段階に応じて取り組んでいるところです。

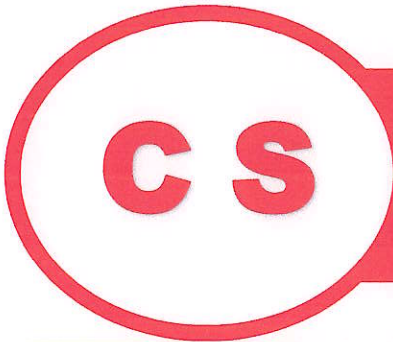
朝の体力作り

鶴田小では、朝の始業前に体力作りに取り組んでいます。下の写真は、ビニール袋に入れたテニスボールで、キャッチボールを行うことで投げる力を高めているところです。この取組のおかげで、体力調査の投力でも全学年全国平均を超えることができました。



4月のいじめアンケート

いじめを1件認知しました。指導を行った上で、現在、経過を見守っています。



コミュニティ・スクール

TSURUDA

発行元 さつま町立鶴田小学校運営協議会

今年度の総合的な学習の時間では、昨年度の学校運営協議会の話し合いを参考に、3年生がいちごや梅などの特産品や商品開発、4年生がたけのこや伝統工芸の竹細工、5年生が鶴田ダムやほたるなどの防災や環境保全、6年生が温泉や和紙など歴史、文化、観光などの未来計画などに取り組んでいきます。



3年生

たけのこ掘り(3・4年生)

4名の地域の方々の御協力のもと、特産品のたけのこについて実際に体験して、たくさん学ぶことができました。ありがとうございました。



4年生



朝のあいさつ運動の様子

地域の方々にはいつも子ども達を見守ってくださりありがとうございます。おかげさまで、子ども達のあいさつはすばらしいです。

今後ともよろしくおねがいたします。



学校ブログQRコード



学校便りHPQRコード

他の多くの学校行事もぜひご覧ください!

6月の主な行事予定

- 6日(金)：租税教室(6年)
- 11日(水)：浄水場見学(4年生)
- 14日(土)：土曜授業 いもむしの会
- 25日(水)：水辺の安全教室
- 30日(月)：探究学習

★6月のCSの日について

6月のCSの日は、授業参観になります。時間は10:20~11:05です。なお、その日は探究学習講演会(3~6年生参加)のため、1・2年生の授業参観となります。お待ちしております。

<学校施設を借用される際は、申請書等が必要です>

集落行事等で校庭や体育館を借用される際は、事前に『使用許可申請書』(公民会行事で使用する場合は、あわせて『減免申請書』)の提出が必要です。詳しくは、学校(☎59-2017)までお気軽にお問い合わせください。